

三宅島火山ガス観測結果

前回と同様

1. SO₂ 放出量

2005 年 10 月～2006 年 2 月の放出量は 2000～5000 t/d (平均 3300 t/d) であり、2004 年 10 月～2005 年 10 月の平均 4000 t/d よりやや低い。

その中でも 11 月～12 月の放出量は平均 3900t/d でありそれ以前と同様であるが、2006 年 1 月～2 月の放出量が 1800～3000 t/d (平均 2500t/d) と低い。

2. H₂O/SO₂ 濃度比

2005 年中は H₂O/SO₂ モル濃度比=～60 でほぼ一定であり、2004 年 5-7 月 (モル比=～40) と比較してやや高い。

丸印は放出量から計算された組成比。推定法の誤差および比較した放出量が同じ時間帯の測定値ではない、等の理由によりバラツキが大きい。

菱形は携帯型センサーによる山頂部での観測結果。

3. CO₂/SO₂ 濃度比

CO₂/SO₂ モル濃度比= 1 でほぼ一定。

丸印はヘリ観測結果、印が大きい方が信頼性が高い。

菱形は携帯型センサーによる山頂部での観測結果。

4. Cl/S 濃度比

Cl/S モル濃度比=0.1 でほぼ一定。

ボックスは山麓でのアルカリ吸収液法、菱形は山頂でのアルカリフィルター法。

5. まとめ

SO₂ 放出量は、2004 年 10 月～2005 年 12 月の平均 4000 t/d に対し、2006 年 1 月～2 月は平均 2500t/d と、低下傾向を示している。

2006 年には組成観測はまだ実施されていないため、低下傾向に対応する組成変化があるかは今後の観測が必要である。

